

## 第81回一般社団法人日本めまい平衡医学会代議員総会議事録

日 時：2022年11月16日（水）14時15分～

場 所：奈良県コンベンションセンター コンベンションホールA

1. 代議員総数 78名, 出席代議員数 56名（委任状による者を含む）  
出席理事：將積日出夫（議長・理事長）, 青木光広, 池園哲郎, 今井貴夫, 岩崎真一, 北原 糺, 城倉 健, 杉内友理子, 鈴木光也, 瀬尾 徹, 堤 剛, 堀井 新, 室伏利久 13名  
出席監事 石川和夫, 重野浩一郎 2名  
以上の通り代議員と役員の出席があったので, 定款により, 理事長・將積日出夫が議長として, 本代議員総会は適法に成立した旨開会を宣し, 議事録署名人として代議員より片山直美会員, 工 穰会員を指名, 承認し議事に入った。
2. 北原 糺学術講演会会長より挨拶があった。
3. 2022年度 事業報告（2022年度：2021年9月1日～2022年8月31日）  
以上に関し, 別紙の一覧の通り池園理事より提示, 報告された。逝去された会員に対し黙祷を捧げた。
4. 2022年度 貸借対照表及び正味財産増減計算書に関し, 承認を求める件  
以上に関し, 理事長及び岩崎理事より書類の提出と説明があり, 重野監事により2022年9月15日に行われた監査内容が報告され, 承認された。
5. 会員管理業務の外部委託に関し, 承認を求める件  
以上に関し, 將積理事長より説明があり, 会員管理業務に加えて, 印刷業務, 会計業務, 庶務業務などの学会業務を段階的に中西印刷株式会社へ業務委託する事が提案され承認された。
6. 2023年度 事業計画報告（2023年度：2022年9月1日～2023年8月31日）  
以上に関し, 別紙の一覧の通り池園理事より提示, 報告された。
7. 2023年度 収支予算書報告  
以上に関し, 岩崎理事より2023年度収支予算書及びその内訳が提示, 報告された。
8. 委員会報告および承認 等
  - 1) 専門会員資格審査委員会より（鈴木理事・堀井理事・室伏理事）  
専門会員資格審査委員会による審査を経て理事会から, 前田幸英, 高倉大匡, 松村八千代, 乾 崇樹各会員の4名が新専門会員として推薦され, 承認された。
  - 2) めまい相談医制度運営委員会より（青木理事・今井理事・城倉理事）  
運営委員会による審査を経て, 理事会から62名の会員がめまい相談医に推薦され, 承認された。
  - 3) 平衡機能検査士制度運営委員会より（青木理事・北原理事・鈴木理事）  
運営委員会による審査を経て, 理事会から49名の会員が平衡機能検査士に推薦され, 承認された。
  - 4) 学会のあり方委員会より（池園理事・北原理事・杉内理事）  
準会員制度について協議中である事が報告された。
  - 5) Equilibrium Research 誌編集委員会より（瀬尾理事・堤理事）  
編集作業状況について滞りなく進んでいることが報告された。
  - 6) 渉外広報委員会より（室伏理事・杉内理事）  
近日中に英文版ホームページが公開される事が報告された。今後, ガイドラインや一般の方向へのQ&A, リンク等の各ページの改訂を予定していることが報告された。また故福田先生のDVD資料の活用に関して継続審議中であることが報告された。
  - 7) セミナー委員会より（鈴木理事・堀井理事・室伏理事）  
2023年夏期セミナーについて, 7月22日に品川シーズテラスホールにて現地開催し, オンデマンド配信も予定していることが報告された。
  - 8) 診断基準化委員会より（今井理事・城倉理事・堀井理事）  
良性発作性頭位めまい症診療ガイドライン2022年度版は年内に発刊される事が報告された。また眼振と異常眼球運動の動画ライブラリー作成が完了し, 解説文についてはER誌2021年12月号に掲載したこと

と、今期はDVDを販売することが報告された。また眼振表記法の改訂案を作成中であることが報告された。

- 9) 国際学術委員会より（池園理事・堤理事）  
IFOSの日本招致活動への協力、マドリッドのBarany学会のWEB配信が2022年内公開予定であること、2024年の上海開催が可能か未定であること、そのほかの国際学会情報などに関する報告があった。
- 10) 用語委員会より（瀬尾理事）  
めまい用語集解剖編をER誌に掲載したこと、今期は「生理編」を掲載し、引き続き診断・症状・疾病等の作成を継続する旨の報告があった。
- 11) 医療保険委員会より（青木理事・北原理事）  
令和6年度診療報酬改定要望項目（慢性めまい指導管理料等）が提示、報告された。
- 12) 疫学委員会より（岩崎理事）  
2022年度に実施した前庭神経炎の疫学調査結果を2023年に発行されるER誌上で報告する予定であるとの事であった。2023年度は中耳加圧治療に関する全国調査を予定している。
- 13) 利益相反委員会より（堤理事）  
学会の役員等とガイドライン作成委員等の利益相反に関して問題ないことを確認した旨、報告があった。
- 14) 前庭リハビリテーションガイドライン作成ワーキンググループより（北原理事・堀井理事）  
編集の進捗状況と2024年度の発刊を目指していることが報告された。
- 15) CD-ROM「日常診療での平衡機能検査2」（仮称）ワーキンググループより（堀井理事・堤理事）  
今回発刊するCD-ROMの内容は「機器による精密検査」とし、その進捗状況と今年度中に発刊を予定している旨の報告があった。また既刊同様、ER誌上と学会HP上で広報し販売する事が承認された。
12. 学会賞発表  
学会賞選考委員会より推薦され理事会にて選考した結果、萩原啓文会員（長野保健医療大学保健科学部リハビリテーション学科理学療法専攻）の「慢性期めまい平衡障害患者におけるDual-Task Timed Up and Go testと臨床指標の関連」が選出された旨の報告があった。受賞講演と表彰式が11月17日に行われる。
13. 第82回（2023年）総会・学術講演会に関する件  
次期会長である新潟大学・堀井 新会員より、2023年10月25日～27日に朱鷺メッセでの開催に向けて準備を進めているとの報告があった。
14. 第83回（2024年）総会・学術講演会に関する件  
担当である名古屋市立大学・岩崎真一会員より、2024年11月13日～15日に名古屋コンベンションホールで開催する予定である旨、報告された。
15. 第84回（2025年）総会・学術講演会会長に関し承認を求める件  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院・瀬尾 徹会員を理事会より推薦し、承認された。
16. その他、將積理事長より、今後、診療ガイドラインに関して5年を目途に改訂してはどうかとの提案があり、承認された。

議長は、以上の議事終了を述べ、15時20分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名がこれに記名押印する。

2022年11月16日

第81回一般社団法人日本めまい平衡医学会代議員総会  
議長・代表理事 將積日出夫 印  
議事録署名人 片山 直美 印  
議事録署名人 工 穰 印